

平成 29 年 7 月 6 日

モデル建物法入力支援ツール 変更点 ( Ver. 2.3.2 → Ver. 2.3.3 )

以下の変更を行いました。計算結果に影響はありません。

- 1) 入力シートをアップロードした際に、自動的に計算を実行するように変更。
- 2) 全熱交換器が「無」の場合においても、様式出力 (PDF) に「全熱交換効率」が表示される問題を解消。
- 3) 複数用途集計ツールにおける「既存部分」の評価において、以下の説明文を掲載。

既存建築物の増改築時の評価において、既存部分の外皮や設備仕様の入力を省略し、既存部分はデフォルト値 (BEI=1.2) であるとして評価を行う場合のみ、この欄に既存部分の床面積を入力する。これに該当しない場合は「0」のままとする。

なお、増改築部分の一部が計算対象外である場合など、増改築部分の床面積と計算対象面積が一致しない場合は、本ツールでは適切な評価結果が得られない (本ツールでは、増改築部分の床面積と計算対象部分が一貫して計算を行っている)。これに該当する場合は、当面の間、手計算で建築物全体の BEI を算出していただきたい。

建築物全体の  $BEI = 1.2 \times \text{既存部分の床面積} / \text{延べ面積} + \text{増改築部分の BEI} \times \text{増改築部分の床面積} / \text{延べ面積}$

なお、本件については、Ver2.4 (平成 29 年 10 月公開予定) よりプログラムで計算ができるように機能を拡張する予定である。

以 上